

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ゼミナールIV Seminar IV		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(公務員試験)	卒業後の進路として(地方)公務員を志望していること。 ゼミナールI~IIIを履修済みである
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
キャリア教育、インターンシップ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
川副令	講義棟2階	初回授業で発表する		授業中に指示します
授業の概要				
地方公務員を志望する学生の学習支援を目的とする。2次試験(作文、面接、集団討論)を想定した練習を行う。市役所職員試験の一般的なスケジュール(9月下旬1次試験実施、10月上旬1次試験結果発表、10月中旬~下旬2次試験実施)を想定し、それに練習が間に合うよう、変則的な日程で授業を進めることがある。受講生は状況に応じた仕方で文語と口語を使い分け、筋道の立った議論を展開し、文章構成全体を分かりやすいものにすることができるようになる。				
授業の目標				
(1) 作文に関しては、叙述の順序を工夫する、事実と意見の区別を明確にするなどの方法により、文章全体の主旨を読み手に分かりやすく伝えることができるようになる。また、主語と述語を首尾一貫させる、過剰に長い形容句は用いないなど、基本的な文章作法を踏まえた、分かりやすい文を書くことができるようになる。(2) 面接に関しては、質問されやすい事項を事前に整理して、面接官の質問の意図を素早く把握できるようにする。また、質問に対して適切な言葉遣いで、要領を得た回答ができるようになる。				
授業の方法				
作文試験については過去の出題例に取り組むほか、その傾向を踏まえて最近の時事問題を要約し、意見を付する練習を行う。				
学習の成果(学習成果)				
読み手に伝わりやすい、明快な文章を書くことができるようになる。面接官の質問の意図を素早く把握して、適切な言葉遣いで、要領を得た回答ができるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	作文試験と面接試験の概要			
第2回目	作文練習1			
第3回目	作文練習2			
第4回目	作文練習3			
第5回目	面接練習1			
第6回目	集団討論練習1			

第7回目	作文練習4
第8回目	作文練習5
第9回目	面接練習2
第10回目	集団討論練習2
第11回目	時事問題研究1：地方社会の諸問題（テーマ決定、ペア決定）
第12回目	時事問題研究2：日本の社会保障
第13回目	時事問題研究3：中間報告会
第14回目	時事問題研究4：マイノリティー問題
第15回目	時事問題研究5：最終発表会
事前・事後学習	事後学習：各自練習問題に取り組むこと。

#### 成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	50%	出席状況のほか、毎回の問題への取り組み、質疑応答への参加等を総合的に評価する。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	50%	担当問題について、正解をしっかりと理解しているか、解説の準備が十分にできているか、他の参加者に伝わるよう適切な仕方での解説ができているか、を評価する。
その他		

#### 教科書と参考図書

推薦参考図書：大原瞳『公務員試験のキャラクリ』光文社新書2011年、太田肇『公務員革命ー彼らの〈やる気〉が地域社会を変える』ちくま新書2011年。その他の教材、参考図書は、授業中に紹介する。

#### 履修上の留意点・ルール

初回授業で説明する。